

会 議 録

会議の名称	令和2年度 第5回 所沢市地域福祉推進委員会
開催日時	令和3年3月30日（火）16時00分 ～ 18時00分
開催場所	こどもと福祉の未来館 多目的室3・4号
出席者の氏名	中島 修（委員長）、赤坂 悦（副委員長）、新井 むつ子、梅本 晶絵、大島 隆代、高柳 進、田中 保子、根本 明子、長谷部 賢司、原 紘一、小松 君恵、中川 博之
欠席者の氏名	佐藤 佳岳、三好 尉史、飛田 裕子
説明者の職・氏名	地域福祉センター センター長 大出 久美、主査 遠藤 康代、主任 鹿島裕太、戸塚 渉輔 (株)ジャパンインターナショナル総合研究所（「ジャパン総研」とする）
議 題	(1) 第3次計画の策定について (2) その他
会議資料	<p>【配布資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会次第 ・ 第3次所沢市地域福祉計画 本編 ・ 第3次所沢市地域福祉計画 概要版 ・ 所沢市地域福祉推進委員会 スケジュール予定 ・ 社協だより ・ 委員名簿及び本日の席次表
担当部課名	<p>福祉部 地域福祉センター 電話04（2922）2115</p> <p>福祉部 部長 瀬能 幸則</p> <p>福祉部 次長 並木 和人</p> <p>地域福祉センター センター長 大出 久美</p> <p>地域福祉センター 主査 遠藤 康代</p> <p>地域福祉センター 主任 鹿島 裕太</p> <p>地域福祉センター 主任 戸塚 渉輔</p> <p>竹村 俊朗</p>

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>事務局（大出センター長） 中島委員長</p>	<p>1. 開 会</p> <p>開会を宣言した。</p> <p>○委員長あいさつ 年度末のお忙しい中お集りいただき御礼申し上げます。本日ようやくお披露目できる素晴らしい表紙、みなさまの議論から出来上がった計画をご覧いただくと共に、本計画をこれからどう広め、生かした地域づくりをしていくか未来志向で意見交換させていただきたい。</p> <p>○欠席者の確認</p> <p>○会議の運営方法に関して</p> <p>①会議の公開・非公開について（原則、公開とする） ②会議録の記録方式について（発言者名は公開とし、要約方式で記録する） ③会議録の確定について（委員長に署名・承認を得て、確定する）</p> <p>○会議に関する説明・資料の確認 ・資料の確認</p>
<p>事務局 （大出センター長）</p> <p>事務局 （鹿島主任）</p>	<p>2. 議 題</p> <p><u>1. 「第3次計画の策定について」</u></p> <p>計画書本編・修正箇所・パブリックコメント・概要版について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙の説明 ・注釈・写真の追加 ・資料編 ・パブリックコメント結果報告 ・変更点の説明 <p><表紙></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の名称、計画の愛称「SMILEプラン」、計画期間等を掲載 ・裏表紙を2枚めくった「奥付」部分にデザイン説明を掲載 <p><注釈の追加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各該当ページ下部に注釈（用語解説）を掲載 ・本計画全体を通して128の注釈を追加 ＊（例）P6、7 注釈（用語解説）が多めに掲載されている <p><写真の掲載></p>

- ・基本施策を中心に各所写真を掲載

- ・スペース上掲載が難しい箇所については割愛した

< P 4 2 2 地域活動の促進 >

- ・各施策に関連する取り組みとして「自治会の夏祭りの様子」「環境美化の日の活動」の写真を掲載

資料編について説明を行った。

- ・ P 9 3 ~ 「資料編」として各種資料を掲載

< P 9 4 1 第2次所沢市地域福祉計画目標指標の進捗状況 >

- ・ P 9 4 ~ 9 5 取り組みを図る指標として平成27年度~令和1年度の5年間の実績を一覧で掲載
- ・令和2年度実績については、新年度第1回委員会にて報告予定

< P 9 6 2 第3次所沢市地域福祉計画及び所沢市成年後見制度利用促進基本計画の策定経過 >

- ・2つの計画の策定経過を掲載
- ・第2次計画の前期3年を終えた後（平成30年4月）本委員会から提言書を所沢市長へ提出したところから本日までを経過として掲載

< P 9 7 3 所沢市地域福祉推進委員会条例及び委員名簿 >

- ・ P 9 7 からは、各会議、条例、要綱、委員名簿を掲載

< P 9 8 (2) 所沢市地域福祉推進委員会委員名簿 >

- ・本会議について名簿と前回委員会の写真を掲載

パブリックコメント結果報告について説明を行った。

- ・令和3年1月15（金）~2月4日（木）3週間実施
- ・個人5名、1団体から37件ご意見をいただいた
- ・ご意見に対する市の回答、考え方、修正箇所等をまとめた結果資料を3月11日付で公表した
- ・修正箇所については事前送付資料に掲載のため説明は割愛した
全ての意見を計画書へ反映は難しいが、いただいたご意見・助言を踏まえて第3次計画の推進に取り組みたい。

計画書本編の変更点について説明を行った。

< P 5 6 9 生活困難者等への支援 >

- ・ P 5 7 取り組みを測る指標令和5年度、令和8年度の目標値を削除
- ・目標値の設定を「一（注）」と記載し欄外に注釈説明を要した
目標値については計画期間前期3年間過ぎた時点で目標値の見直しを行い、後期目

<p>事務局 (ジャパン総研)</p>	<p>標値の修正を行う。</p> <p>概要版についての説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次計画の概要版は、計画の内容のみを凝縮したものではなく、特に若年層へ関心を持っていただき少しでもできることから取り組んでいただけるよう前半を漫画仕立てとし、地域福祉について理解を深めていただく内容とした ・またそれらの世代に実際に手にとりいただけるよう色合いも含め、シンプルながらもおしゃれな雰囲気を目指した ・漫画には、昔から所沢市に住んでいる高齢夫婦のトコロさんと最近引っ越してきたサイタさん、転入の多い子育て世帯の一家が登場する <p><表紙></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のPR動画を参考に作成 <ul style="list-style-type: none"> * 航空公園の放送塔を中心に、左から「自然、暮らし、文化」の3つに分け、西武遊園地、狭山湖など「所沢市」とすぐにわかるモチーフを並べた <p><P2～3 地域で支え合うって、どういうことでしょう？></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サブタイトル「ふくしはみんなで少しずつ」 ・イラストの1コマ目「チキフクシって？」 <ul style="list-style-type: none"> * 地域福祉へ導入となる内容とした ・P3 実際に自分のことで精一杯といった世代でも地域で活動する人たちにつなげるだけで十分といった展開になっている <p><P4～5 いざというときのために つながりをつくりましょう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(本計画策定時の) アンケート結果を基に、普段は必要以上に関わりを持たなくて良いと考えている若い世代でも、災害時の助け合いは関心が高くなっている点を踏まえ、防災をきっかけに地域に関心をもっていただくことを狙いとした ・P4 下部にハザードマップ等防災に関する情報へアクセスできるようQRコードを掲載 ・P5 身近に暮らす人々について改めて意識してもらうことを狙いとした <ul style="list-style-type: none"> * ページ下部 社会福祉協議会が災害時に立ち上げる災害ボランティアセンターを紹介 <p><P6～7 困りごとや悩みごとがあったら～地域で活動する人、相談・居場所～></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動される様々な組織、人を紹介 ・P6 地域で最も身近な組織である自治会・町内会やボランティア団体、NPO法人などの組織、また民生委員・児童委員、地域福祉サポーターを紹介 ・P7 公的性格の強い組織・人を紹介 <ul style="list-style-type: none"> * ページ下部 子ども食堂、地域サロン等の居場所、また相談窓口として「暮らしの相談事業」や福祉の相談窓口を紹介
-------------------------	---

<p>事務局 (戸塚主任)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これら窓口の連絡先については、計画期間の間に変更なども考えられるため、明記せずQRコードでアクセスしたページにて最新の情報が得られる形をとった <p>P 8以降について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以降は計画を紹介する内容 <p>< P 8～9 第3次所沢市地域福祉計画（SMILEプラン）をつくりました ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 8 計画の体系や地域福祉計画の法的な位置づけについて説明 ・ P 9 SMILEプラン名称について説明 <p>< P 10～11 地域福祉計画 基本方針 I ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 10～11見開きで掲載し、3つの基本方針に基づく各基本施策、主な取り組み、成年後見制度利用促進基本計画における施策目標を説明 ＊ ページ下部 成年後見制度の紹介を一言掲載 <p>< P 12 地域福祉計画の位置づけ ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 所沢市における地域福祉計画の位置づけ、計画の推進にあたってPDCAサイクルの紹介を掲載 <p>計画の周知について説明を行った。</p> <p>< 冊子発行部数と主な配布先 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本編 1, 000部 <ul style="list-style-type: none"> ＊ 所沢市こどもと福祉の未来館、市内各まちづくりセンター、図書館、小中学校等で閲覧可能となるよう配架 ＊ その他市議会議員、各自治会、民生委員、児童委員、協議会会長へ配布予定 ・ 概要版 10, 000部 <ul style="list-style-type: none"> ＊ 市内中学校1学年あたり2, 700部を3学年分とし8, 100部を各中学校へ配布 ・ 若い世代に福祉へ関心を持っていただく目的で配布 <p>< その他配布先 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内、公共施設、地域包括支援センター、民生委員、児童委員、社会福祉協議会等関係機関 <p>< 今後について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5次地域福祉活動計画（WITHプラン）策定の社会福祉協議会と連携し、本計画の周知啓発を行い地域福祉の推進を図る ・ 地域福祉未来フォーラム、未来館まつり、地区別住民懇談会等での周知、出前講座等にて本計画の啓発を行う ・ 広報ところざわ5月号に紙面半ページ～1ページの特集記事にて掲載予定
-----------------------	---

<p>中島委員長</p>	<p>今後社会福祉協議会のWITHプランと車の両輪のように連携を取りながら進めていく。相互の計画が円滑に進むよう協力し様々な場面で周知、啓発を図っていく。</p> <p>概要版にQRコードが付いているのが新しい形で素敵だ。中学校への配布についても、今回計画で大事にしてきた若い方たちへ福祉を伝え、考えてもらうといった部分が活かされている。数値目標については補足させていただく。数値目標とは必ず増えていくものばかりではなく、ものによっては減少することもある。先ほどの生活困窮相談については基本となる数字がコロナ禍前の数字で、この数値を基準として進めていくと減少する。東京都の住宅確保給付金が令和元年5月は80件だったが、令和2年は1万3千件で本市も同様の状況である。「相談件数が減る」という見込みが不適切になると考え意見し、事務局に検討いただいた結果、今は数字を入れないとの判断をいただいた。こういった点を考慮して見ていただきたい。本計画についてのご感想、気づいた点などあれば伺いたい。</p>
<p>根本委員</p>	<p>色合いも良く、温かい表紙だ。概要版も手に取りやすい。注釈が丁寧に付けられ、また表紙についての説明が掲載されていて感動した。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>我々の声を生かして丁寧に作成いただいたという印象だ。他いかがか。</p>
<p>中川委員</p>	<p>本編も良いが、概要版は子どもたちにとっても良いと思う。学校の先生方が本計画について生徒へ説明するとなると、なかなか動けないと考える。各学校へ出向いて希望者のみの参加でも構わないので出前講座を1校1回だけでも実施して欲しいと思う。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>事務局いかがか。</p>
<p>事務局 (大出センタ ー長)</p>	<p>学校への配布は、現在検討段階である。配布の際には校長会へお邪魔し校長先生方へ説明する形を取らないと出前講座につながらない部分があるので、社会福祉協議会と連携し進めていきたい。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>社協から願います。</p>
<p>梅本委員</p>	<p>社会福祉協議会の福祉学習として地域福祉の推進にあたっては、福祉学習に力を入れていきたい。社会福祉協議会でも冊子を作成しており、各学校から総合学習で是非行って欲しい等の要望があるため展開を図っていけたらと考えている。</p>
<p>小松委員</p>	<p>配布先について、概要版の登場人物であるサイタさん一家のような世帯が多く利用する子育て支援センターや児童館にもお願いしたい。児童館は、地域との関わりとして表紙デザインでいうところの斜めの糸にあたる。そういった意味で児童館、子育て支援センターは学校と違って講座等も開催しやすい環境だ。是非ご検討いただきたい。</p>

中島委員長	ホームページには掲載する予定か。
事務局 (大出センター長)	ホームページにも掲載する。また、児童館等を配布・配架先として追加することも可能だ。配布先について相談があれば、是非声をかけていただきたい。
中島委員長	是非、ご活用いただきたい。地域福祉は、福祉教育に始まり福祉教育で終わると言われるくらい福祉を学ぶ機会は、とても大切だ。子供たちや地域の方々の学び方は様々なので良い資料ができた。
高柳委員	現状では11地区のまちづくり協議会が実施できているので、協議会で渡すことも可能だと考える。私は今回で最後だが、次の委員、自治連合会と共にしっかりバックアップしていきたい。
中島委員長	今回はパブリックコメントが増えた気がする。概要版に興味を持っていただき、更に本編にも目を通していただきたい。
事務局 (遠藤主査)	<p>市長への策定報告会について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関等への配布に先立ち市役所内での進め方 <ul style="list-style-type: none"> ①市長以下各部長等級以上で構成される政策会議にて報告 ②市議会への報告 ③冊子を関係部署へ配布 ・ 市長に対して計画策定の報告を行う <ul style="list-style-type: none"> * 4月16日(金) 午前11時40分～(20分程度予定) * 委員長と同席する委員は3名程可能 <p>市長に策定を報告する大変貴重な機会となる。同席いただける方を募りたい。</p> <p><u>2. 「その他」</u></p> <p>令和3年度のスケジュール(予定)について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度は年間3回委員会を開催予定 ・ 第1回委員会6月上旬予定 <ul style="list-style-type: none"> * (第2次計画の最終年度) 令和2年度指標項目の進捗を検証 * 地域福祉法人による地域公益事業実施にあたって地域協議会の開催が必要となった場合は、第1回委員会において協議予定 ・ 第2回委員会11月頃予定 <ul style="list-style-type: none"> * 第1回～第2回間に成年後見制度推進委員会及び庁内地域福祉推進連絡会議等開催予定のため期間が空く * 第2次計画の総括について協議予定 ・ 第3回委員会3月頃予定 <ul style="list-style-type: none"> * 第2次計画の総括について協議予定 * 令和3年度の成年後見関連の報告等予定

	<p>いずれも現時点では具体的な日にちが未定となっているが、委員長と調整した後、なるべく早くお示しする。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>地域福祉推進委員会は、審議会の位置付けになっているため大変重要な委員会である。計画作成だけでなく、作成した計画をどのように実現していくかを見ていくことも重要な役割であり、これからも継続して議論していく。事務局から何かあるか。</p>
<p>事務局 (大出センター長) 梅本委員</p>	<p>梅本委員から、社協の地域福祉活動計画の進捗をお願いする。</p> <p>社会福祉協議会においても地域福祉活動計画を策定しており、地域福祉計画と両輪の形になっている。市の計画が「SMILEプラン」、社協の計画が「WITHプラン」で、「WITH SMILE」といった形で進めている。現在パブリックコメント等の取りまとめが終わり、業者と相談しながら冊子を作成している最中であり、内訳は市の計画書より薄い30ページほどの構成で3,000部ほどを4月頃に発行する予定となっている。出来上がった際には何らかの形でお手元に行くようにしたい。</p>
<p>大島委員</p>	<p>重複している委員も何名かいらっしゃるの、双方に反映できて素晴らしいと感じる。概要版のトーンが良いと思う点として、我がことにするといった部分だ。例えば学生の教材で使う際に概要版を先に見た後、具体的に日常で生かすことを示した点がとても良いと思った。成年後見に関しては、利用を促進する目的で本計画に取り入れてから年数が経っていないため、利用促進をどのように進めていくかがこれからの課題になると思う。今後もいろいろなご意見を取り入れて作り上げていただきたい。市長との面会には市民の方が行かれることを提案する。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>本計画書は、読むと所沢の状況が良く分かるよう作成されている。何とか概要版から本編へ目を通していただき市の情報を得ていただきたい。</p>
<p>中川委員</p>	<p>成年後見の中核機関について申し上げたい。本市でアンケートを取った際、親族後見を希望される方が約80%いたが、これは親族の関係が良好である家庭が大半で、残りの20%の中に独り暮らしや身寄りがない等の方々がいると推測する。ここで重要なのは、親族後見のニーズを進めていく上で、希望者に助言し精神的なケアを行う中核機関が必要ということだ。配偶者の親族後見を申し立てたが選ばれず、この結果への不満から裁判所へ不服を申し立てたが、結果は変わらず専門職が選ばれたとの相談事例があった。この事例は狭山市でのケースだが、本市でも起こる可能性は十分ある。我々の様なNPOでも中核機関のような取り組みを進めていきたいが、力不足を感じている。親族後見を希望される方が勇気をもって申し立てできるためにも是非お願いしたい。</p>
<p>中島委員長</p>	<p>高齢者の5人に1人が認知症になると言われている時代だ。市民が身近な問題として関心を持っている事の一つとして捉え、これから継続して議論していくテーマだ。</p>

原委員	<p>成年後見制度の利用促進については、本人の意思決定が一番大事である。一例を紹介すると、障害を持つ子の親から、法定後見を進めると専門家に毎月5万円前後の報酬が発生し長い年月をかけてお金が無くなってしまおうとの相談を受けていた。相談者の子どもと面会したところ、B型の施設に通所していたが本人の意思がはっきりしていたので任意後見を結ぶことができた。親はできないと考えていたが、改めて障害者も一人の人格として認めるならば任意後見が最適だと考える。任意後見と補助・保佐を増やすことが裁判所の意向でもあるので、補助・保佐の該当者は任意後見もできるといった可能性を追求していかなくてはならないと考える。</p>
中島委員長	<p>障害のある子どもと親との関係を含めていろいろなケースがあり、考え方の違いがある。任意後見をどのように増やしていくかが、一つの課題である。</p>
新井委員	<p>今までに成年後見制度の講習会等で見聞きしたことはメリットばかりだったが、今回のパブリックコメントを見てデメリットがあると知りショックを受けた。困っている人もケースバイケースなので安易に勧めてはいけなさと感じ、中核機関のようなしっかり説明してくれる場所が必要だと思った。</p>
中島委員長	<p>日本の成年後見制度は良い面もあるが、大前提として本人の権利を一定程度制約することをもって「守る」ということがある。その意味で本人がいろいろな事を決められなくなる要素があり、判断が分かれている。一見難しそうな内容で市民も重く受け止めることがあるので、分かりやすくできたら良い。</p>
事務局（大出センター長）	<p>みなさんのご感想をいただきながら進めていただきたい。</p>
中島委員長	<p>計画を今後どのように進めていくか、ご感想も含めてお願いしたい。</p>
長谷部委員	<p>一般公募の立場から意見を述べたい。事務局から計画本編が1,000部、概要版が10,000部との説明があった。一般の立場からすると、役員の選出、高齢化等の問題から自治会や町内会等への参加を悩んでしまうという考えが大多数だと思う。今回概要版が完成したことを契機に、各家庭に1部配布する気持ちで周知徹底することで一人でも多くの方へ知ってもらおう努力をお願いしたい。</p>
中島委員長	<p>こういった行政の計画は、なかなか一般市民からすると縁遠い。特に福祉、介護といったテーマはあまり向き合いたくないものである。</p>
長谷部委員	<p>身近な問題であるが。</p>
中島委員長	<p>身近であるがゆえに、なかなかといった点がある。そこを何とかして一緒に考えていけるかが課題だ。例えば本市の若年層は、東日本大震災を一つの契機として災害への関</p>

田中委員	<p>心が非常に高いことが、市民意識調査から読み取れる。こういったことを生かしながら少しずつ地域でつながっていったら良いと思う。</p> <p>今回初めて完成版を拝見した。本編の表紙は、肌触りが伝わってくるような温かさで、概要版もイラストは控えめながら工夫が凝らされている。我々の意見全てを盛り込むことはできないが、こういったやり取りが積み重なって計画が完成していると肌身を持って実感できた。今後は計画の実現への橋渡しの部分が大事だと考える。こういった部分は非常に見えにくく、数値をもって達成したといっても良いと思うが、計画のプロセスをどこかの段階で示されれば市民の興味も高まり、計画実行をより実感できると思う。また、概要版の漫画が分かりやすく、幅広い方たちへ伝わるのではないかと思う。可能であれば、この漫画を1枚の紙にまとめた概要版の更に概要版といった形を作成、配布し多くの方の目に触れるように工夫してみたい。</p>
中島委員長	<p>ご専門のマイノリティ問題について、素案の段階からいただいた内容の一部かもしれないが、計画に盛り込んだ。</p>
高柳委員	<p>概要版の配布については様々なご意見をいただいたが、町会によっては配布すること自体が困難なところもあり、回覧板も難しいといった状況だ。ただし、掲示板に貼るなど、自治連合会として可能な範囲で無理なく協力していきたい。</p>
赤坂副委員長	<p>新任の民生委員が加入して一年が経過したが、コロナ禍で活動ができていない中での概要版は民生委員にとっても非常に分かりやすく、説明する際の役に立つと思う。民生委員の活動として計画周知について協力していきたい。</p>
小松委員	<p>待機児童対策だけでなく子どもの貧困、虐待が社会問題になっている中で、地域の温かさを伝える本計画はありがたい。もう一つの違った視点として、日本経済の父であると同時に福祉にも貢献された渋沢栄一がブームになりつつあることから中小企業でも「地域を良くしよう」といった機運が出て来ている。是非福祉に地元の中小企業が入ってきてくれたらと考えている。微力ながらこちらにも力を入れていきたい。</p>
梅本委員	<p>本計画は、本市だけが進める計画ではなく、社協だけが進める計画でもない。住民、自治会、関係機関、団体等皆で協力し合いながら進めていかなくてはならない。「計画」というと難しく聞こえるかもしれないが「WITH SMILE」という言葉が広がり笑顔あふれるまちになるよう、これからは正念場だと思っている。計画の指標に社会福祉協議会の事業も多く掲載されている。しっかり取り組んでいこう、また住民へ理解を広げていけるよう進めていきたい。</p>
新井委員	<p>会議の回を追うごとに計画書の内容が良くなる経過を目の当たりにすることができた。内容としては、読んでいて楽しいものではないが、これらを図や写真等で分かりやすくしていただけて良かったと思う。</p>

中島委員長	<p>国のガイドラインに沿って作成すると難しい内容になってしまうが、いかに分かりやすく作っていくかが、今回の課題だった。</p>
大島委員	<p>我々の役目は市民への通訳だ。ここからは、具体的にどのように行動に移すかの段階に入っていく。課題に対して市民からたくさんのご意見、アイデアをいただき議論することが大切だと改めて勉強になった。</p>
高柳委員	<p>最近だと高齢者宛の詐欺の電話などが多い。一人一人が自信をもって、しっかりしなくてはいけない。民生委員等が、深く入り込んでいけない部分もあるが、こうした地域づくりの中でお互いが理解・協力することが大切だと改めて勉強になった。</p>
根本委員	<p>完成した計画書を拝見し、思った以上に分かりやすかった。町内会も高齢の方が長く役員をされて「辞めたくても辞められない」といった相談を受けていたが、若い世代に声をかけて青年部を設け、総会で承認をもらうことにしたとの話を聞いた。こういった若い人に参加してもらうためにも概要版等を利用して周知していきたい。</p>
原委員	<p>この冊子は裏表紙にも線が入っており非常に丁寧だと思った。どのようにして、このようなデザインが生まれたかお聞きしたい。</p>
ジャパン総研 (新橋)	<p>当社のデザイナーが表に対して裏が寂しくならないようデザインした。</p>
中島委員長	<p>確かに裏面に何もデザインされていないと殺風景になる。まさに「織りなす糸」のようだ。事務局からは何かあるか。</p>
事務局 (大出 センター長)	<p>デザインについて補足させていただく。このカーブは笑っている「SMILE」を表現している。</p>
事務局 (一同)	<p>事務局一同およびジャパン総研一同から総括とあいさつ。</p>
ジャパン総研 (一同)	
中島委員長	<p>本計画を外へ持っていき、市民以外の方から評価していただく。本市の市民としては、実践しながら仕組みを作っていくことが大事になると考える。まず素晴らしいスタートが切れると思う。これから皆と一緒に進めていきたい。予定していた議題は終了でよろしいか。</p>
事務局 (大出センタ	<p>保留になっていた市長との面会についてお願いしたい。</p>

一長 小松委員	先ほどご提案にあった市民公募の方は、いかがか。
中島委員長	新井委員いかがか。
新井委員	承知した。
事務局 (大出センタ 一長)	他の方はいかがか。市長も委員とお話できる機会になるため、ありがたく思っている。
赤坂副委員長	滅多に仕事が入らないが、当日は入っている。
中島委員長	原委員いかがか。
原委員	日程をもう一度お願いする。
事務局 (大出センタ 一長)	4月16日金曜日午前11時40分予定だが、集合は20分程前を予定している。
原委員	予定が入っている。
根本委員	難しい。
高柳委員	特に予定はない。
中島委員長	高柳委員お願いする。梅本委員は他の委員の都合がつかない場合をお願いする。小松委員いかがか。
小松委員	特になければ調整する。
中島委員長	では新井委員、高柳委員、小松委員お願いする。もし都合が合わない場合は、梅本委員をお願いする予定だ。または欠員で進める。
中島委員長	予定していた議題はすべて終了した。
事務局 (大出センタ 一長)	次回委員会は5月下旬～6月上旬開催予定だ。日程が決まり次第改めてお知らせする。

3. 閉 会

閉会を宣言した。